第一薬科大学筑後支部活動状況報告

筑後支部長　原　美穂

7月9日、第一薬科大学筑後支部総会が開催されました。当日は災害級の大雨となり、各交通機関はストップ。会場周辺の道も一部閉鎖されるなどの大変な状況でした。朝の時点では小雨程度だったので開催しましたが、残念ながら参加者は少なかったです。

総会では、白谷智宣教授と卒業生の長田進夢様が講演を行いました。白谷教授は、大学の現況について詳しくお話ししてくださり、国家試験の合格率は悪くないものの、進学率が低いという状況、低学年のときから頑張っている生徒でないと国試の合格どころか進学が難しいことに、保護者として危機感を感じました。特に、1年生の時からの学習の習慣が大切であるとのこと。この講演を聞いた保護者の皆様は、子供の学習にもっと関心を持つこと、また伴走することの重要性を感じたことだと思います。

一方、長田さんの講演は、学生時代の勉強法や経験についての具体的かつリアルな話で、現役の大学生にもっと聞いて欲しかった内容でした。薬剤師と一言で言っても、どの病院で、どのような患者さんの役に立ちたいのかという目標によって進路が大きく変わるとのこと。最初から優等生というわけではなく、頑張り始めてもなかなか結果が出ず、国試の直前に合格圏内に入ったという長田さんの話は、保護者としても大変参考になりました。

会が終わる頃には雨も小降りとなり、無事に閉会となりました。

最後に、筑後支部の現状についてお伝えいたします。現在、筑後支部は2人の役員で運営しており、2人とも新しい役職に就いたばかりで、右も左もわからない状態です。今回の開催の意思決定なども、日曜で大学が休校ということもあり、誰に相談したらいいのかもわかりませんでした。
そんな状況ですので、役員を募集しております。ちょっとしたお手伝いでもありがたいです。皆様のご協力を心よりお待ちしております。

以上、第一薬科大学筑後支部の活動状況報告でした。次回の総会では、多くの皆様のご参加をお待ちしております。